

経営理念	<p>【児童一人一人が生涯にわたって、自律的によりよい生き方を目指すための基礎となる、豊かな心と確かな学力、健やかな体を身につける】</p> <p>学校教育目標：「かがやけ香我美！楽しい学校！～かしこく・やさしく・たくましく～」</p> <p>〈目指す児童像〉○学びを楽しむ子ども ○明るく元気に仲間と共に伸びる子 ○人や自然と豊かな関わりがもてる子ども</p> <p>〈望む教師像〉○児童の心に寄り添う教師 ○豊かな教育力を持ち、児童や保護者に信頼される教師 ○協働・協調の精神、使命感ある教師</p> <p>経営方針：学校教育目標に基づき、子ども自身が物事を判断し積極的かつ根気強肯定肯定肯定く取組もうとする児童の育成を目指した学校経営を行う。</p> <p>①全員が登校する学校 自尊感情・社会性・規範意識の育成 ②授業を改善する学校（合理的配慮ある授業づくり）</p> <p>③組織力を発揮する学校（協働と信頼えを得る発信） ④子どもに寄り添い可能性を伸ばす学校（積極的態度の育成）</p>
-------------	--

中期経営目標	短期経営目標 (評価項目)	自己評価 ※学A：学校生活アンケート 学評：学校評価		○考察 【次年度に向けて】	学校関係者評価
		評価指標	評価 達成○ 課題▼		
豊かな心 心の居場所づくり 絆づくり ○自分への信頼の育成（自己指導能力の育成） ・自尊感情と社会性、規範意識の育成 ・安定し、安全な学校生活 ○全員が登校する学校 ・児童が過ごしやすい居場所の保障 ・共感的・受容的な人間関係の育成 ○心身ともに健やかな身体づくり ・バランスのとれた運動能力の育成 ・基本的生活習慣の定着	①自分自身のよさに対する自覚の向上	○学A「学校が楽しい」強肯定50%以上 ○道徳調査で、「自分にはよいところがある」肯定80%以上 ○学評「きまりを守っている」肯定65%以上	B ○「学校が楽しい」肯定86.1%（強肯定53.7%） ○「自分にはよいところがある」肯定82.7%（強肯定53.7%） ○「きまりを守っている」肯定94.9%（強肯定54.2%）	①④全児童が楽しみ交流を深めている。折り返しを付ける大切さを学ぶ必要がある。 ①④児童会主催の各学年挨拶運動により、目標を決めて挨拶する姿勢が見られた。 ③合理的配慮の研究により「整える・そろえる」を確認。 ②③特支CO、不登校担当、管理職、外部機関と連携して継続的な支援を行っている。 ⑤児童が主体的に学ぶ授業づくりや安全な支援について学び、体力向上への基盤ができてしていると捉えている。 ⑤養護教諭の見通しを持った取組により教職員・児童へ効果的に啓発できている。メディア利用についての課題は大きい。 【次年度に向けて】 ・「言葉のシャワー」「縦割り班活動」「挨拶運動」「参加型集会」の継続 ・異学年交流や保幼小中地域が一体となった学習や活動を通して、キャリア教育で求められる資質・能力を育成するとともに、ふるさとを誇りに思う心を育む。 ・「高知の道徳」「重点目標」との関連を確実に行う。 ・様々な活動の中で児童同士や教職員から即時評価を行い、価値付ける。 ・「保健だより」「講師招聘研」による児童・保護者への啓発	B ・全校で楽しむことを大切にしている姿勢がある。自己肯定感を上げる工夫を願う。 C ・全校としては楽しく過ごし落ち着きもあり努力している。 ・情緒面のしんどさをもつ児童への支援が不十分な時に、児童の不安が高まり、学級全体のしんどさになっていられる。解決は難しいかもしれないが努力してほしい。 B ・地域で出会った時や学校に訪問した際、進んで「挨拶」する児童がいる。今後も「挨拶」できる児童の育成に努力してほしい。 A ・運動場で元気に遊ぶ児童をよく見かける。運動を楽しみ、基本的生活習慣を大切にできるよう継続してほしい。
	②生徒指導上の諸課題改善に向けた効果的対応	○新規不登校児童0名 ○重大ないじめの発生0件 ○児童の暴力行為0件	C ▼新規不登校児童2名 ○重大ないじめ 0件 ▼対教師暴力行為2件 ▼器物損壊1件		
	③特別な教育支援の必要な児童に対応する校内体制の整備・実効性のある実践	○校内支援会の開催（月1回） ○学A「学校が楽しい」強肯定50%以上 ○学A「先生は相談に答えてくれる」肯定85%以上	B ○校内支援会17回開催 ○「学校が楽しい」肯定86.1%（強肯定53.7%） ○「先生は相談に答えてくれる」肯定93.9%（強肯定65.7%）		
	④特別活動を中心とした絆づくりの推進	○「全校で何かをするのは楽しい」肯定85%以上 ○学評、保護者からの評価「子ども達はあいさつをしている」肯定60%以上にする ○児童会・委員会活動で、全校が楽しめる場を5回以上設ける	B ○「全校で何かをするのは楽しい」肯定95.0%（強肯定68.1%） ▼保護者の「あいさつ」に関する肯定53.9%（強肯定16.9%） ○参加型集会活動（計7回）		
	⑤安定した学校生活を支える多様な運動機会の提供と基本的生活習慣への取組	○元気っ子カード「自分で決めた就寝時刻を守る」65%以上 ○学評「基本的生活習慣の定着に努めている」肯定70%以上 ○全国体力・運動能力調査男女ともT得点が50点を上回る	A ○「自分で決めた就寝時刻を守る」76.0% ○「基本的生活習慣の定着に努めている」肯定69.5%（強肯定32.5%） ○運動能力は男子50.4 女子53.8 「体力・運動能力重点校」年間3回研修実施授業へ生かす肯定100%		
確かな学力 学びの居場所づくり ○子どもが活躍する授業づくりの推進 ・基礎的基本的な学習内容の定着 ・思考力・判断力・表現力の育成 ・主体的に学習に取り組む態度の育成 ・合理的配慮ある授業づくり ○学習習慣の定着 ・目的的家庭学習の提示	①主体的・対話的で深い学びを培う授業	○全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査、標準学力調査で、全国平均並みの学力を目指す ・全国学力学習状況調査、国語・算数が全国平均-5P以内 ・標準学力調査2年～6年の国語・算数が全国平均-5P以上	B ○全国学力・学習状況調査結果 国語 70% (+3.2%) 算数 55% (-3%) 理科 62% (+4.9%) ○高知県学力定着状況調査結果 4年：国語 72.4% (+2.0%) 算数 67.0% (+1.3%) 5年：国語 66.7% (-2.7%) 算数 69.8% (+7.8%) 理科 58.0% (-7.4%) ▼標準学力調査結果 1年：国語 71.2% (-3.7%) 算数 78.0% (-0.6%) 2年：国語 71.4% (-7.9%) 算数 62.7% (-8.6%) 3年：国語 62.0% (-14.7%) 算数 59.5% (-13.2%) 6年：国語 73.0% (+2.2%) 算数 74.9% (+1.8%)	①2、3年生に課題がある。安心して学習できる環境構成の重要性が理解できるようにする。 ②各種アンケート「授業がわかる」「主体的に取り組む」「自分で考える」「ペア、グループで学習する」の肯定群が80%を超え、強肯定群も全項目40%以上であり、学習に向かう姿勢は整っている。 ③「UDの視点を意識した授業づくり」について肯定的評価を示す教員は42%であり、すべての児童が「わかる」「できる」授業実践は課題である。 ④家庭学習の家庭への啓発が必要。 【次年度に向けて】 ・学習状況を児童自身に認識させ、取組方を児童自身が考えられるよう、「学びの振り返り」をICTを活用しながら取り組んでいく。 ・学級集団で学ぶ「わかる」「できる」「楽しい」を実感できるように、UDの視点を理解し、授業づくりに努める。 ・領域によって理解度に差があるため、児童が苦手とする部分を把握し、時間をかけて学習できるよう単元での時間配分を調整するなど単元構成を工夫する。 ・落ち着いた取り組み環境整備（教室環境の工夫、刺激量の調整、場の構造化）を徹底する。	B ・学習規律を整えることによって、安心して学習に向かう学級集団となり、それが学力に直結すると考える。個々の教員の取組ではなく、学校体制として取り組んでほしい。 ・中学年の時期を大切に過ごせる学級づくりに努力してほしい。 B ・全教員で「話し合う授業」に取り組むことで効果が出ると思う。安心して自分の考えを表現できる学級づくり、授業の工夫を学校全体で取り組んでほしい。 B ・配慮した授業づくりを行うことに努力し、個に応じた授業づくりに取り組んでいることは評価できる。 B ・家庭への啓発を含め取組を検討してほしい。 ・家庭学習の習慣化に向け「進んで学習する」を指標とし取り組むことも考える。
	②自分の考えを発表して話し合ったり、練り合ったりする授業	○学評「勉強・運動の力が伸びている」肯定60%以上 ○学A「授業が分かる」肯定80%以上 ○学A「思考」「協働学習」「自分の考えを表現する」肯定80%以上 肯定70%以上 ○タブレット活用状況80%以上	B ○「勉強・運動の力が伸びている」肯定54.4%（強肯定20.8%） ○「授業が分かる」肯定85.7%（強肯定46.8%） ○「思考」肯定80.6%（強肯定44.5%） ○「ペア/グループ学習」肯定81.8%（強肯定54.8%） ▼「考えを表現する」肯定36.4%（強肯定33.4%） ○タブレット活用全学級100%活用		
	③合理的配慮ある授業の取組	○「合理的配慮に関するアンケート」肯定群の向上 ○学A「グループ・ペアで考えることが好き」肯定80%以上 ○学評「先生は授業改善の工夫や努力をしている」肯定60%以上	B ○「合理的配慮に関するアンケート」肯定群全項目向上 ○「グループ・ペアで考えることが好き」肯定81.8%（強肯定54.8%） ○「授業改善に工夫・努力」肯定62.3%（強肯定27.7%）		
	④家庭学習の習慣化への取組	○学A「家庭学習時間が守れた」低学年、中学年、高学年ごとの割合75%以上 ○タブレットを家庭に持ち帰り、家庭学習に活用する。	C ▼家庭学習時間 全校61.1% 低学年70% 中学年56% 高学年57% ○自主学習ノート展2回実施（予定通り）「学ぶ部会」からの通信発行（年間3回） ○タブレット週末持ち帰りは実施		
信頼される学校 ○保護者や地域に信頼され、期待される学校づくりの確立 ・中学校区連携 ・情報発信 ○危機管理体制の整備 ・避難訓練 ・危機管理マニュアルの修正	①保護者や地域への積極的な情報発信	○学校だよりを1月に2回以上発行 ○学級・学年だより平均月1回以上発行 ○学評「情報発信」の肯定的評価80%以上	A ○学校だより 2月末33号配付 ○学年・学級だよりは月1回以上発行 ○「情報発信」の保護者肯定的評価94.8%（強肯定32.5%）	①管理職の情報発信・公開の姿勢により発信が充実した。 ②地域・保幼小中との連携は計画的に実施できている。実行性のある計画・カリキュラム見直しも進んでいる。「地域部屋」の運用は地域とのつながり、働き方改革に有効である。 ③「地域の中の学校である」という意識と発信が有効であったと考える。 ④訓練回数、学習、マニュアルの見直しは実施できている。 【次年度に向けて】 ・地域人材を活用した学習活動の取組（地域部屋設置・名簿作成・CSリーフレット完成・総合的な学習の時間全体計画等）の充実。 ・情報発信の継続 ・「危機管理」や「不祥事防止」の意識が向上する研修の実施 ・保幼小小合同引渡し訓練の実施 ・「不祥事防止」の計画の運用 ・研修及び日常的なコミュニケーション	A ・細やかな情報発信により安心できる。 ・ぶれない経営方針が安心感につながる。 A ・50周年の取組は大変評価できる。情報発信も丁寧で、地域、児童ともよい思い出となった。 B ・保護者、運営委員の声もよく聴いてもらっている。 B ・引渡し訓練時の「カード」について検討が必要である。 ・水泳参観は、児童の様子など安全面の配慮を観ることができているので継続してほしい。
	②保護者や地域と連携した学校行事等の工夫と中学校区連携による教育活動	○保護者と意見交換できる場を5回以上設ける ○地域学校協働本部の活動が、のべ年100回以上・のべ400名を目指す ○香我美中学校区連携の取組は、計画の85%以上を実施する	A ○学年・学級懇談、地区懇談会9回開催 ○地域人材活用 111回・のべ人数約360人 *「50周年記念行事」参加者を含めると400名を超える。 *地域協働本部事業に係る名簿作成 ○中学校区連携は計画通り実施		
	③学校評価・学校関係者評価の実施	○学評「保護者の意見を運営に生かす」肯定評価60%以上	B ○「保護者の意見を運営に生かす」肯定61.1%（強肯定18.2%）		
	④危機管理マニュアルの活用と危険予知能力の向上	○学評（保護者）「危機管理」肯定的評価70%以上 ○設定・内容等を工夫した避難訓練を実施する。	B ○「危機管理」に関する肯定的評価76.7% ○避難訓練年間5回実施済 ○学期ごとに安全点検の実施 ○「危機管理マニュアル」の見直し、周知 ○保幼小小合同引渡し訓練の実施 ○「不祥事防止」の計画の運用 研修及び日常的なコミュニケーション		